大学病院における機能構造の考え方（案）

資料２
大学病院運営の構造転換に向けた
方策に関する検討会（第２回）
Ｒ８．11．24

大学病院の機能は、全大学に共通して求められる**第１層の「標準的な機能」**と、各大学が強みや地域特性に応じて発揮する**第２層として「特色化・重点化機能」**の二層構造として整理することが考えられる。

第２層　各大学病院の機能・役割・地域特性を踏まえた特色・強み

※各大学病院が持つ機能は、下記のどれか一つに固定されるものではなく、複数の機能を持つことも想定

高度研究開発・先端医療牽引型

特色

医学研究者、世界水準の高度専門委の育成
創薬、融合研究、国際共同研究、高度先進医療
希少疾患、難治性疾患、新規治療法の開発

目指す姿（例）

世界と伍する研究成果の創出

代表的な指標

国際共著論文数、医師主導治験数　等

特色のある専門医療・研究拠点型

特色

強みを持つ分野の専門医、研究者養成
広い分野をカバーしつつ強みある領域で研究創出
専門医療の提供、地域医療機関との役割分担

目指す姿（例）

特定分野における全国的な研究・診療拠点

代表的な指標

臨床研究数、治験数、高度医療実施件数　等

地域医療・人材提供型

特色

総合診療医等地域医療を担う医師の育成、
地域の疾病構造等に応じた課題解決研究
県内の高度医療の確保、医師不足地域への診療支援

目指す姿（例）

地域医療の最後の砦として地域医療を維持

代表的な指標

医師派遣数、紹介・逆紹介数、地域定着率　等

第１層　大学病院に共通する基盤機能

教　育	医学生、研修医、専攻医の育成。それに必要な教育担当医師の配置。看護師等医療職の育成
研　究	医学研究・臨床研究の実施。それに必要な支援体制の整備（IRB、AROの設置や研究開発マネジメント人材の配置）
診　療	幅広い診療科を設置し、高度かつ専門的な医療を提供。地域医療機関との連携
社会貢献	地域医療機関への医師輩出。地域の医療提供体制維持への貢献。自治体と連携して人材育成し、プラットフォームを構築